

VI 教 育 施 設

1 フェライト子ども科学館

1 運営方針

フェライトを工業化した齋藤憲三氏の先見性と科学に対する情熱やチャレンジ精神を未来に受け継ぎ、次代を担う子どもたちの科学する心を培うとともに、科学に親しみ学習する場を提供することにより創造性豊かな青少年を育成する。

2 重点目標

- (1) フェライトと磁石を中心とした科学に親しむ機会の提供
- (2) 地域の偉人・齋藤憲三及び山崎貞一に関する情報の提供
- (3) 教育機関及び関連施設との連携による幅広い事業の展開
- (4) 適切な施設管理による来館者の安全確保及び満足度向上



令和6年度リニューアル展示
「マグネット サーカス」

3 事業計画

期 日	事 業 名	事 業 内 容
7月19日(土)～ 8月24日(日)	夏休み特別企画展	「戦後の日本のイノベーション100選」 ～今年は昭和100年・フェライト発明95年～
8月1日(金) 8月7日(木)	科学振興委員会「科学ウォッチング」	8/1 ジオサイトめぐり 8/1 夏の天体観測 8/7 マイナスの世界
7月12日(土)～ 7月13日(日)	WRO（ロボットコンテスト） 秋田県中央地区予選会	講習会と小・中・高校生部門予選大会
8月10日(日)～ 8月11日(月・祝)	米村でんじろう実験教室	サイエンスプロデューサー米村氏による実験教室
11月	発明工夫展・未来の科学の夢絵画展	夏休みの課題入賞作品の展示
12月～2月	移動科学実験教室	3年生「磁石の学習」 5年生「モールス通信機と電磁石」
3月中旬～4月上旬	春休み特別企画展	科学に関するパネル展示
随時(土日祝日)	各種実験工作教室	県立大学教員、科学館スタッフによる工作教室
毎週土日祝日	フェライト磁石づくり体験	入館者対象の教室
随時	サイエンス・カフェ	一般(高校生以上)対象の科学コミュニティ

2 白瀬南極探検隊記念館

1 運営方針

- (1) 博物館機能を高め、白瀬南極探検隊の顕彰、資料収集と調査研究を行い、白瀬南極探検隊の偉業を公開し、永く後世に伝承する。
- (2) 教育施設機能を高め、地域の学校教育、社会教育と連携しながら、白瀬南極探検隊の探検精神を地域の教育に活用し、次世代への継承を図る。
- (3) 観光施設機能を高め、県内外からの観光客を誘致し、市の観光の活性化に寄与するとともに、白瀬南極探検隊の偉業を内外へ発信する。
- (4) 適切な施設管理を行い、入館者の安全・安心を確保する。

2 重点目標（キーワードと目標）

- (1)「顕彰」 白瀬矗及び白瀬南極探検隊の功績を語り継ぐ事業の実施。
- (2)「研究」 白瀬矗及び白瀬南極探検隊関連の資料の収集と調査の継続。
- (3)「管理・運営」 誰もが利用しやすい施設を目指した適切な管理・運営。
- (4)「体験」 南極について学ぶための資料と実物に触れる体験機会の提供。
- (5)「教育」 学校及び地域社会と協力した学習機会の提供。
- (6)「連携」 多様な組織及び個人との連携による魅力的な事業の展開。
- (7)「情報」 知名度の向上、興味喚起と来館意欲促進のための情報発信。

3 事業計画

期 日	事業名・事業内容	会場等
7月 23 日(水)～ 11 月 3(月・祝)	企画展「白瀬南極探検隊の学術調査」	白瀬記念館
7 月 26 日(土)	南極・昭和基地ライブトーク	白瀬記念館
11 月 8 日(土)	陸上自衛隊第 9 音楽隊 アンサンブルコンサート	仁賀保勤労青少年ホーム
令和 8 年 1 月 28 日(水)	第 59 回白瀬中尉をしのぶ集い 雪中行進・市内会場イベント	金浦地域
通 年	白瀬・南極出前授業	市内小中学校